



オープンたかつき  
古曽部焼きの陶芸に挑戦

川久保にある窯元「義崇窯」で11月6日、古曽部焼きの陶芸体験が開催され、参加した8人が茶碗作りに挑戦しました。

これは、体験交流型観光プログラム「オープンたかつき」の一環で行われ、参加者は「自分で作った器でお茶をたてるのが楽しみです」と話しました。



久保田サザ子さんが救急車を寄贈

市内在住の久保田サザ子さんが11月9日、救急活動に役立ててもらおうと救急車1台と資機材1式を市へ寄贈しました。

濱田市長は「高槻市の安全・安心につながるよう、大切にに使わせていただきます」と感謝を述べました。



おもいのハンコ作りなど  
多彩なメニューを楽しむ

磐手公民館で10月29日、「秋のおはなし会おもいのハンコで絵を描こう」が開催され、2歳～就学前の幼児と保護者合わせて22人が参加しました。

参加者は、型抜きしたサツマイモにインクをつけてハンコにしたり、ちぎった新聞紙を使ったちぎり絵を作ったりするなど多彩なメニューを楽しみ、交流の輪が広がっていました。



大阪医科大学と認知症に関わる  
人材育成に関する協定を締結

市と大阪医科大学は「認知症に関わる多職種連携の人材育成のための教育・研修プラットフォームの形成」に係る協定書を10月24日に締結。同大学の大槻勝紀学長が市役所を訪れ、濱田剛史市長と意見交換を行いました。

今後、両者が協力し、医療・福祉・介護の専門職に向けて認知症の早期発見・早期介入や口腔ケア、リハビリテーションなどの講義を行い、専門職の人材育成をより進めていきます。



市役所前を彩る大輪 菊花展を開催

市役所前で10月28日～11月10日、市菊花展が開催され、咲きそろった黄、白、紫の大輪の菊が、道行く人々を楽しませていました。

並べられた菊は、市菊花協会の会員が丹精込めて育て上げたもので、市役所を訪れた市民らは、写真を撮るなど秋の風物詩を楽しんでいました。



原地区でどぶろくの  
仕込みが行われる

原地区の「畑中農園 惣介蔵」で新米を使った「どぶろく」「原いっぱい」の仕込みが10月に行われました。

どぶろくは、同園で収穫したヒノヒカリを使って作られています。

畑中秀子さんは「今年は猛暑や台風で厳しい環境でしたが、それに負けないおいしいどぶろくを仕上げたので、ぜひ楽しんでください」と話していました。



高槻中央ライオンズクラブが  
時計塔を寄贈

来年春に一次開園する安満遺跡公園に10月25日、時計塔が設置され、除幕式が行われました。この時計塔は高槻中央ライオンズクラブが、結成40周年を迎えたことを記念し、市に寄贈したものです。

同クラブの廣澤勝男さんは「公園と共に時間を刻んでいけることをうれしく思います。開園が待ち遠しいです」と話しました。



第四中学校区の子どもたちが  
心温まるかるた「ぼかぼかるた」を作成

第四中学校区の小・中学校と阿武野高校の子どもたちが、心が温かくなるような言葉を盛り込んだかるた「ぼかぼかるた」を作成しました。

第四中学校生徒会会長の北脇大也さんは「小・中・高校の4校で考えて作ったものが、一つのものとなって完成したので、とても達成感があります」と笑顔を見せていました。